

科目名	人体構造機能学 I (神経系)	担当教員	鈴木大輔 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-----------------	------	--------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻 作業療法学専攻	専門基礎科目	必修	1年次	前期	2単位	講義

科目概要	人体構造機能学 I は理学療法と作業療法を学ぶ上での基礎となる人体の構造（解剖）と働き（生理）を関連付ける学問である。本科目では特に大脳新皮質，間脳，脳幹，小脳，脊髄などのいわゆる脳・脊髄に分類される中枢神経系と，脊髄神経から派生する末梢神経系および感覚器系についてそれぞれの構造と機能を重点的に学習する。またマクロ解剖だけではなくミクロ解剖に関しても理解を深め，神経組織を構成する細胞間の関連性，神経細胞およびグリア細胞内の細胞小器官が各細胞内でどのように機能するかを学習する。
学習目標	中枢神経系の構造と働きを理解する。

回	項目	主な学習内容	学習目標	実務経験 教員担当 項目
1	I: 中枢神経	中枢神経系のあらまし 脳の周辺構造	中枢神経を構成する細胞，末梢神経との違いを理解する 脳脊髄液の役割を理解する	
2	I: 中枢神経	(1)脳血管系：脳脊髄液 (2)脳血管系：動脈	脳脊髄液の役割，生成及び循環経路を理解する ウィリス動脈輪の構造を理解する	
3	I: 中枢神経	(3)脳血管系：動脈	大脳動脈の走行を理解する 脳血管障害が起きやすい血管を理解する	
4	I: 中枢神経	(4)脳血管系：静脈	脳静脈の走行を理解する	
5	I: 中枢神経	(5)各論：脳幹	網様体の働きを理解する 脳神経核の名称と働きを理解する	
6	中間テスト（理解度確認のため）			
	復習			
7	I: 中枢神経	(6)各論：小脳	小脳の構造と働きを理解する 小脳障害のメカニズムを理解する	

8	I：中枢神経	(7)各論：間脳	視床の構造と働きを理解する 視床下部の構造と働きを理解する	
9	I：中枢神経	(8)各論：大脳基底核	大脳基底核の名称と働きを理解する 不随意運動や臨床症状とのかかわりを理解する	
10	I：中枢神経	(9)各論：大脳新皮質	前頭葉の働きを理解する 頭頂葉の働きを理解する	
11	I：中枢神経	(10)各論：大脳新皮質	側頭葉の働きを理解する 後頭葉の働きを理解する	
12	I：中枢神経	(11)各論：大脳連合野	高次脳について理解する 高次脳機能障害について理解する	
13	I：中枢神経 II：末梢神経	(12)各論：大脳辺縁系 (1)各論：脳神経	大脳辺縁系の働きについて理解する 脳神経 I-IV の名称と働きを覚える	
14	II：末梢神	(2)各論：脳神経 (3)各論：脳神経	脳神経 V-VII の名称と働きを覚える 脳神経 VIII-XII の名称と働きを覚える	
15	II：末梢神経	(4)各論：頸神経 (5)各論：腕神経叢	頸神経叢の名称と働きを覚える 腕神経叢の名称と働きを覚える	
評価方法		筆記試験(100%)		
教科図書		F.H.マティーン他：カラー人体解剖学 - 構造と機能：マイクロからマクロまで 西村書店		
参考図書		特になし		
学習の準備		復習は必ず行ってください		
オフィスアワー		在室時		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				